

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	安心安全対策推進プロジェクト	実施期間	H23～	テーマ	安心・安全プロジェクト (町重点施策)	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>通学時間帯における幹線道路（国道307号等）は、非常に渋滞し、多くの車が生活道路（通学路）を迂回するため、大変危険な状態であるとともに、全国的に児童生徒が犯罪被害の対象となる事件等も多く発生していることが新聞等で報道されている。そのため、児童・生徒の安全確保について十分な対策をとることが必要とされている。</p> <p>また生活道路については、住民が日頃利用する道路であり、生活道路における安全確保は住民の安全確保の点から最重要課題である。住民通報や行政関係職員の日常よりの点検パトロールにより、特に危険度の高い箇所から計画的な補修工事が必要とされるとともに、犯罪が多発する社会情勢の中、夜間における安全確保対策も求められている。</p> <p>その他、地震や台風等により災害被害が多く発生する中、周辺を山林に囲まれた本町においても、土砂災害や水害等を始め、ゲリラ豪雨等による被害を最小限に抑え、住民が安心して暮らすことができるように、災害に強いまちづくりを進めるなど総合的な安心安全対策の推進が必要とされている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>児童・生徒の学校生活にかかる安心安全を確保し、子どもたちが安心して健やかに育つことができる環境を整備することをはじめ、住民生活において必ず利用される児童遊園や道路付属構造物等における総合的な環境整備に安心・安全確保の観点より取り組むとともに、災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が自主的に地域を守るために組織される自主防災組織への支援を始め、避難所等への生活物資の備蓄や防災資機材の整備・充実を図り、防災マップの配布により町内危険個所の周知を図る。また地域自主防災組織等と協働し、有事の際における要援護者などの避難体制の確立を図り、住民全てが日常から非常時の「いつ・どんな場合」においても安心して暮らしていける環境整備を進める。</p>						
	総事業費（千円）	16,676	本年度事業費（千円）	16,676	交付金額（千円）	3,394	

プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
	地域防犯推進事業	交付事業	犯罪のない安心安全なまちづくりを進めるため、宇治田原町地域防犯推進ネットワーク協議会による防犯活動を実施する。 ・地域防犯推進ネットワーク協議会 青少年対策協議会、PTA連絡協議会、所管警察署 18名（事務局除く）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「宇治田原町地域防犯推進ネットワーク協議会」開催 平成23年6月27日（月） 平成23年11月29日（火）</li> <li>◆夜間パトロール実施 平成23年 6月12日（金） 平成23年 8月26日（金）</li> <li>◆のぼり旗の設置</li> </ul>
	交通安全指導員設置事業	交付事業	通学路の交通事故危険個所（信号機のない横断歩道等）に交通安全指導員を配置し、登校時における児童・生徒の交通事故防止を図る。	通学路の交通事故危険個所（信号機のない横断歩道等）に交通安全指導員を配置し、登校時における児童・生徒の交通事故防止を図った。
	小学校安心安全対策費	交付事業	小学校校内において児童の安心・安全対策のため巡視員を配置し、児童の安心安全確保を図る。 ・安全巡視員の配置、緊急通報装置の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全巡視員の配置</li> <li>・緊急通報装置の整備</li> </ul>
	交通安全啓発費	交付事業	生活道路等への通勤車両の進入が増加し、危険な状態にあることから交通安全啓発活動を積極的に実施する。	交通安全啓発活動を積極的に実施。
	緊急安全対策事業	交付事業	生活道路において、道路付属構造物（ガードレール等の安全施設）に関し、危険度の高い箇所から計画的な補修工事を実施し、安全な環境整備を実施する。	生活道路において、道路付属構造物（ガードレール等の安全施設）に関し、危険度の高い箇所から計画的な補修工事を実施。
	交通安全対策事業	交付事業	道路付属構造物等（カーブミラー、安全灯）に関し、夜間を含めた総合的な安全確保対策を実施し、犯罪や事故の防止を図る。 ・安全灯（防犯灯）設置、カーブミラーを設置。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全灯（防犯灯）設置</li> <li>・カーブミラーを設置</li> </ul>

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	災害時避難所物資整備事業	交付事業	災害時等における避難場所に生活物資や防災資材の整備を行い、災害時避難所の機能充実を図る。 ・備蓄物資：災害用毛布、災害用食糧、緊急マット、小型造水機	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時備蓄食糧配備 H23年度 住民体育館 500食 備蓄累計 2,000食</li> <li>◆難燃毛布配備 H23年度 南公民館他 300枚 備蓄累計 2,480枚</li> <li>◆アルミ折りたたみ式マット配備 H23年度 住民体育館他 400枚 備蓄累計 1,000枚</li> <li>◆小型造水機定期保守点検ほか</li> </ul>
	防災マップ改訂事業	交付事業	新たに「土砂災害警戒区域」等に指定された地区を既存の防災マップに掲載し、対象地域に配布することで住民への迅速な情報提供を行い、防災意識の向上を図る。	奥山田・南・郷之口・贄田地域の新たに土砂災害（特別）警戒区域に指定された箇所を追加記載するため、「宇治田原町防災マップ（土砂災害・田原川洪水ハザードマップ）」の修正を行った。奥山田区・南区・郷之口区には、自治会を通じて全戸配布。
	救急自動車整備事業	交付事業	常備消防である京田辺市消防署宇治田原分署の救急車に除細動器（AED）を装備し、緊急時における安心・安全確保対策を実施する。	救急救命の向上を図り安心・安全なまちづくりを推進するため、宇治田原分署救急車に積載する半自動除細動器を整備した。
	消防資機材整備費	交付事業	有事の際における消防団の活動効果を最大限に発揮するため、消防資機材の整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆多機能型消防車両購入 第2分団第4部（禅定寺）</li> <li>◆多機能消防車両                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①車両形態 普通貨物車タイプ（4WD）</li> <li>②装備品 消火資機材、救助・救急機材（チェーンソー、AED、救急セット）、投光器・発電機等</li> </ul> </li> <li>◆AED購入 第1分団 第1部（南） 第4部（奥山田）</li> </ul>
住民 協働 事業	災害時要援護者避難支援計画作成事業	交付事業	災害時要援護者台帳整備を作成し、各地域における避難支援団体等が作成する避難支援計画策定への支援を行い、災害時における避難支援体制整備を行う。	要援護者避難支援の実施団体となる自主防災会と順次協定書を締結し災害時要援護者登録台帳の共有を図るとともに、災害時要援護者登録台帳の更新を行った。
	福祉避難所整備検討事業	交付事業	自主防災組織等と協働して災害時における要援護者の避難支援計画を作成するとともに、要援護者のために特別に配慮された避難所である「福祉避難所」の在り方について関係機関と連携のもと調査・研究を実施する。	「福祉避難所」の在り方（必要となる設備・人員・配備物資等）について、災害時要援護者避難支援計画作成事業により作成を進める避難支援計画の内容を踏まえ、関係機関とともに協議・検討を続け、「福祉避難所の設置・運営マニュアル」を策定した。
	自主防災組織支援事業	交付事業	「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、区等の単位で発足した自主防災組織に対し、組織の相互連携や防災訓練等に対する支援を実施する。	「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、区・自治会を単位として組織された自主防災組織の資機材整備に対する支援を図るとともに、防災訓練等の実施に協力した。 ○H23年度自主防災会設立地区 立川 ○H23年度防災訓練実施地区 9地区
	自主防災組織活動充実	関連事業	各地区における自主防災意識の高揚を図り、有事の際における避難・防災訓練等を実施する。	避難・防災訓練等を実施。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

住民が 取り組む 事業	児童遊園整備等助成金	交付事業	区・自治会が実施する児童遊園の遊具の安全点検の結果を受け、改修等に対し費用面での支援を実施し、子どもたちが安心して遊ぶことのできる環境整備を行う。	区・自治会が実施する児童遊園の遊具の安全点検の結果を受け、改修等に対し費用面での支援を実施。	
	地域防犯パトロール	関連事業	地域ぐるみで犯罪の芽を小さなうちに摘み取ることを目的に、各地区ごとに夏休み期間など定期的な防犯パトロールを実施し、少年少女への声掛けなどを実施することで防犯と地域の団結につなげる。	地域ぐるみで犯罪の芽を小さなうちに摘み取ることを目的に、各地区ごとに夏休み期間など定期的な防犯パトロールを実施し、少年少女への声掛けなどを実施。	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	全ての区・自治会における自主防災組織の結成		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	H23年度自主防災会設立地区…立川 (平成24年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	全11区・自治会中、10区・自治会で発足済み	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	自主防災訓練の実施		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	防災訓練実施地区 9地区 (平成24年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	有事の際における避難・防災訓練等を実施し、各地区における自主防災意識の高揚を図った。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に備え、備蓄物資の確保など、さまざまな面での対応措置の充実が図れている。</li> <li>・各地域において、自主的な活動が活発になってきている。</li> </ul> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果				
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が防犯ボランティアとして活動することで、地域の連帯感が強まり、地域の安心安全対策の自主的な活動の活性化につながっている。</li> <li>・有事の際における避難・防災訓練等を実施することで住民の防災意識が高まる。</li> </ul>		
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果		災害時発生時に備えた備蓄物資の充実		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

---

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。